

## 別記様式第6

論文審査の要旨  
(Summary of Dissertation Evaluation)

博士の専攻分野の名称 (Major Field of Ph.D.)	博士 ( 文学 ) Ph.D.	氏名 (Candidate Name)	唐 植君
学位授与の要件	学位規則第4条第1項該当		
論文題目 (Title of Dissertation) 中日民間説話における異類婚姻譚の比較研究－20世紀以降のタイプとモチーフを中心に－			
論文審査担当者 (The Dissertation Committee)			
主 査 (Name of the Committee Chair)	教授 佐藤 利行		
審 査 委 員 (Name of the Committee Member)	教授 本田 義央		
審 査 委 員 (Name of the Committee Member)	教授 根本 裕史		
審 査 委 員 (Name of the Committee Member)	首都師範大学・教授 李 均洋		
〔論文審査の要旨〕 (Summary of the Dissertation Evaluation)			
<p>本論文は、中国と日本における民間説話、すなわち口承によって伝えられ20世紀以降に記録された説話の中から異類婚姻譚を取り上げ、それらを分類・整理してその特徴を考察したものである。論文は、序章、第一章「中日民間説話の研究における用語と民話の資料」、第二章「20世紀以降の中日民間説話における比較研究と交流」、第三章「話型分類から見る20世紀以降の中日異類婚姻譚」、第四章「20世紀以降の中日民話における異類婚姻譚の様式」、第五章「20世紀以降の中日異類婚姻譚の構成と特質の比較」、終章の全七章から構成される。</p> <p>序章では、研究の動機・方法について述べ、中日の先行研究を詳細に分析した上で、本研究の意義について論じている。</p> <p>第一章では、本論文で用いるタイプ・モチーフ・話型・母題という用語の定義について解説し、また日中における民間説話の範囲についての定義づけを行っている。更に資料として用いる中国の『中国各地民間故事選』『中国民間故事集成』『中国民間故事全書』、日本の『遠野説話』『日本昔話集成』『日本昔話大成』『日本昔話通観』について概説する。</p> <p>第二章では、中日民間説話研究を三期に分け、探索期における周作人・鐘敬文らの民話に関する研究と日本への影響について、また柳田国男の研究について述べる。回復期では丁乃通の『竹取物語』と『斑竹姑娘』の研究、隆盛期として中日の研究者による共同研究、相互訪問、学会の活動などを紹介する。</p> <p>第三章では、民話の話型分類についてイギリスのデニーズ、中国の趙景深・鐘敬文・袁学駿、ドイツのエバーハルト、アメリカの丁乃通、台湾の金栄華、日本の柳田国男・関敬吾・池田弘子・稲田浩二らの分類を紹介し、その分類における異類婚姻譚の位置づけについて考察する。</p> <p>第四章では、中日説話における異類婚姻譚を人間と神(仏・仙人など)との婚姻、人間と妖怪(妖精・精霊・鬼・悪魔など)との婚姻、人間と幽霊(亡霊・生魂・死者など)との婚姻等のタイプに分類し、それぞれのタイプにおける説話の特徴について論じている。</p> <p>第五章では、中日説話における異類婚姻譚をタイプ別に分類した。その内訳は中国の異類智類18、異類女房類27、日本の異類智類29、異類女房類39のタイプである。</p> <p>終章では、本研究のまとめを行い、研究の過程で明らかとなった課題・問題点について述べる。</p> <p>以上述べたように、本論文は口承文学として継承された日中の民間説話のうち異類婚姻譚を中心として比較・対照し中日両国の異類婚姻譚の特徴を解明しようとしたものである。非常によく似た説話であっても、その展開や結末に両国の文化が反映されており、類似の中に差異を認められるものも多くあることを検証する。中国では近年ことに民間文学の研究が非常に盛んになっており、多くの民間</p>			

説話の収集が行われており、本論文はそうした研究に十分に寄与できるものとして高く評価できる。

以上、審査の結果、本論文の著者は博士（文学）の学位を受ける十分な資格があるものと認める。

備考 要旨は、1,500字以内とする。

(Note: The summary of the Dissertation should not exceed 500 words.)